

6. 県民向けイベント

1) 「言語聴覚の日」

■ 「言語聴覚の日2022」開催報告

開催日時：2022年8月28日(日)

開催場所：学びの杜 ののいちカレード
オープンギャラリー



2007年より始まった「言語聴覚の日」のイベントも今年で16回目となりました。今年も昨年と同様に、学びの杜ののいちカレードにて開催させていただきました。

2019年までは、来場者と直接お話しする体験コーナーやクイズコーナー等も行っておりましたが、このコロナ禍では難しいと考え、今年も展示コーナーや川柳コンテストを中心に行いました。

川柳コンテストは、全国からたくさんの方々に応募してくださり、270作品もの川柳が集まりました。どの作品も心温まる素晴らしい内容でした。今年は見やすさも配慮し、広報部の方で選定して50作品を展示させていただきました。

来場者数は30名ほどではありましたが、展示コーナーや川柳作品を時間を掛けてじっくり見てくださる方もたくさんおられ、地域の方々に言語聴覚士の関わる障害や仕事内容などについて、知っていただく場になったのではないかと考えています。

これから、コロナ禍が落ちつくことを願い、来年もまた無事に開催できればと考えています。お忙しい中、川柳コンテストの応募に協力してくださった皆様、告知に協力していただいた皆様、どうもありがとうございました。

南ヶ丘病院 高畠 和宏 ニュースレター2022.9

■ 2022川柳コンテスト(入賞作品)

応募総数：270句(掲載は50句)

- 金賞 誤嚥との ご縁は是非に ご遠慮よ
- 銀賞 伝え方 あなた次第で 無限大
聞こえたよ ゆっくり発した 「ありがとう」
- 銅賞 妻の名を 呼べてリハビリ やる気出る
歯がゆさを ぐっと飲みこみ 待つ言葉
百薬の 聴は孫らの 笑い声
- 入選 食事中 足を地につけ 食べましょう
少しずつ 発する言葉 自粛せず
喋らずも あなたらしさを 真ん中に
難聴を 気付かせぬよう 生返事
言葉無く 心で伝わる 「ありがとう」



2) 県民公開講座

開催日時：2023年2月5日(日) 13:30～16:30

開催方法：Web (Zoom) 開催

講師：中川 信子氏 (言語聴覚士)

テーマ：ことばの専門家に聞いてみよう! ことばの発達 子どもの育ち
〈第1部〉 一般の方向け 幼児期・学童期の言語発達
コミュニケーションについて
「子どもの心とことばの育ち」
〈第2部〉 専門職向け 特別支援教育について
「自分らしく生きることと特別支援教育」

石川県言語聴覚士会主催県民公開講座「ことばの発達 こどもの育ち」を受講しました。講師は中川信子先生で、一般向け演題として「子どもの心とことばの育ち」、専門職向け演題として「自分らしく生きることと特別支援教育」について講義されました。

一般向け演題では、ことばの仕組みや発達について、とても分かりやすい説明をされており、「子どもは球根、ひとりずつ違っていて当たり前」というお言葉がとても印象に残りました。また、子どもに対してのうれしい関わり・ことばかけ(ゆっくり・はっきり・くり返し) やすぐに家庭でも実践できそうな親子の体を使った遊びを知ることができました。子育てをしている親御さんにとってもうれしい情報がたくさん聞けたのではないかと思います。

専門職向け演題では、学童期に見られる発達障害の「学校あるある」や特別支援教育について講義がありました。子どもにとって「助けて」と気軽に言える雰囲気作りや気持ちをへこませない声かけの仕方を学ぶことができました。多様性のあるお子さんを地域で支え自分らしく生きることができるようにSTとして少しでも貢献出来たら良いなと思うと共に、自分たちの病院の役割や石川県の小児療育の現状を考える良い機会となりました。

公立羽咋病院 荒川 和美 ニュースレター2023.3

3) 小児発達相談

開催日時：2023年2月19日(日)

開催場所：金沢市ものづくり会館

2月19日に金沢市ものづくり会館にて、石川県言語聴覚士会主催の小児発達相談を実施しました。この催しは数年前まで石川県ことばを育む親の会が加賀地区、金沢地区、能登地区で発達相談を行っていました。その相談会がなくなり、当会で可能な範囲で引き継いでいきたいと思い、今年度初めて実施まで至る事ができました。本来であれば2年前より実施したかったのですが、コロナ禍ということもあり実際に親御さん、お子さんとお会いしての相談会が困難な状況でした。今年度は相談事業部員や多くの会員の協力をいただき土台を作ることができたのではと思っています。県士会として初めての事業となり、対象を金沢市の未就学のお子さんのみとして案内しましたが、予定していた枠より多くの参加希望の連絡をいただき、再度、小児分野のニーズの多さを自分自身実感しました。来年度からも可能な範囲で持続可能な事業として継続していきたいと考えています。小児に携わっている会員の皆様や小児分野に興味を持っている会員の皆様の参加を募ります。ぜひ、その際は多くの方の参加、協力をお願い致します。

小松市民病院 田嶋 宏太郎 ニュースレター2023.3

7. 他団体との連携事業

1) 石川県理学療法士会・作業療法士会・言語聴覚士会連絡会研修会

■研修会① 地域リハビリリーダー研修

【開催日時】2022年11月19日(土) 13:30~17:00

【開催方法】県リハビリテーションセンター4階大研修室またはWeb (Zoom) によるハイブリッド形式での開催

〈第1部〉講演 「共生社会における地域リハビリテーションの展開」

講師 北九州市保健福祉局地域リハビリテーション推進課 課長 宮永 敬市 氏

〈第2部〉石川県における県リハビリテーション支援センターの紹介

講師 県リハセンター職員

〈第3部〉住み慣れた地域で「したい生活」ができることを実現するために私たちができること

講師 野々市市介護長寿課 課長補佐兼介護保険係長 寺尾 朋美 氏

【参加人数】34名 (会員3名、会員外31名: PT13名、OT16名、他2名)

【概要と感想】

共生社会における地域リハビリテーションの展開」「石川県における県リハビリテーション支援センターの取り組み」「住み慣れた地域でしたい生活ができることを実現するために私たちができること」をテーマにした講演でした。第1部の宮永先生の講演で特に印象深かったのは地域ケア会議の話でした。地域ケア会議では課題解決が求められる事、そして生活実態をきちんと捉えることが課題を明確にするとされていたことです。その他にモニタリングについて一つひとつの事例をしっかりと追うことで関係者間の成功体験を積み重ねていかなければ何も残らないと話されており、またリハ職についてアドバイザーとして関わるだけではケースを追えず限界があると言われていたことが印象に残りました。第2部ではコミュニケーション機器の備品の強化を行った報告が興味深かったです。第3部ではグループワークもあり、様々な意見から地域リハビリテーションとしての何をすべきか考えさせられました。

KKR北陸 訪問看護ステーション 谷口 昌代 ニュースレター2022.12

■研修会② 市町事業に関わるリハビリテーション専門職 育成研修

【テーマ】退院支援から市町・地域の介護予防・自立支援を知ろう

～医療機関と地域それぞれの取り組み紹介～

【開催日時】2023年3月5日(日) 9:30~13:00

【開催方法】県リハビリテーションセンター大研修室またはWebによるハイブリッド開催

【内容】石川県理学療法士会・作業療法士会・言語聴覚士会連絡会の取り組み紹介
「平成27年度からの取り組みを振り返る」

実践報告

1. 中能登町
2. 能美市
3. 金沢市

グループディスカッション

【参加人数】74名 (会員7名、会員外67名: ST7名、PT15名、OT34名、他13名)

金沢西病院 上野 真由美

2) 石川JRAT活動報告

今だから災害リハビリテーションを学ぶ ～過去の振り返りから現在の取り組みまで～

- 研修会① 2023年1月17日(火)
参加者52名(会員4名、会員外48名)
講演「避難所支援における活動の実態」
- 研修会② 2023年2月25日(土)
参加者38名(会員3名、会員外35名)
講演「オンラインHUG(避難所運営ゲーム)」
- 研修会③ 2023年3月14日(火)
参加者41名(会員9名、会員外32名)
講演「石川JRATの活動報告」

【開催方法】3回ともにWeb開催

【概要と感想】

石川JRATでは今年度も体制づくりや研修を行い、11月には中部地区DMATの実働演習にも参加させていただきました。

中部地区DMAT実働演習では、石川JRAT調整本部、活動本部の立ち上げを模擬訓練として行い、発災時の動き方について検討することで課題も見え、とても有意義な訓練となりました。

研修は3回シリーズで行い、今年度もオンライン開催となりました。今回は「避難所支援における活動の実践」、「石川JRATの立ち上げから現状と活動報告」「県内外の協力体制と活動について」、そして今年度も避難所運営ゲーム(HUG)を通して学ぶ災害リハビリテーションのオンライン実習も行いました。

今年度は地震だけでなく水害や雪害もあり、年々いろいろな災害に対して石川JRATとしても敏感に反応することが多くなってきたと感じております。

ST士会の災害リハWGでは、DMAT実働演習の際にLINEでの災害時安否確認サービスの模擬訓練も実施しました。登録会員の7割の会員の方にご返答いただき、定着に向けて来年度以降も実施していく予定です。

また、来年度より石川JRAT協力病院になっている会員の皆様には、研修会の参加にご協力していただく予定となっておりますので、積極的に参加していただければと思います。

災害リハビリテーションWGかがやきクリニック 金沢 一恵 ニュースレター2023.3

3) 特別支援学校の医療等外部専門家との連携事業

1. 石川県立七尾特別支援学校珠洲分校 珠洲市総合病院 矢内 真実

1) 日程 (合計3回)

2022年5月27日(金) 11:00~15:00 *県リハはWeb参加
 11月4日(金) 11:00~15:00 *県リハはWeb参加
 2023年2月3日(金) 11:00~15:00

2) 対象者

学部	学年	内 容
小学部	5年	発音について(明瞭度)
	全般	摂食について
中学部	1年	発音について(明瞭度)
高等部	3年	発音について(明瞭度)

3) 備考

・対象者への助言は複数回実施しました。

2. 石川県立七尾特別支援学校輪島分校 市立輪島病院 水上 匡人

1) 日程 (合計2回)

2022年9月30日(金) 10:30~15:30
 2023年2月10日(金) 11:20~15:20

2) 対象者

学部	内 容
小学部	コミュニケーションについて(構音の不明瞭さに対するアドバイス)
高等部	嚥下機能について(嚥下体操、流涎についてのアドバイス)

3) 備考

・2回とも当院作業療法士と訪問しました。
 ・対象者2名とも昨年から継続して助言指導を行いました。

3. 石川県立七尾特別支援学校 公立能登総合病院 藪越 文佳

1) 日程 (合計2回)

2022年7月7日(木) 9:30~13:30
 2023年1月18日(水) 9:30~13:30

2) 対象者

学部	内 容
小学部	不明瞭な発話について（ことば自体の発達、音韻認識についてアドバイス。）
	他者とのコミュニケーションを伸ばす関わりについて（要求・PECSの使用。友だちと共通した写真カードの使用をアドバイス。）
	摂食・咀嚼について（咀嚼の発達段階評価。感覚過敏とストローやスプーンの素材についてアドバイス。）
	口腔器官の運動発達について（感覚刺激、口腔器官の運動などをアドバイス。）
	早口で不明瞭になる発話について（社会性、言語発達についてアドバイス。）
	痲癩をおこす。高学年で発話が多いが、質問の意味が分からずに答えることが多い。文字を読むが意味に結び付かない。「わからない」など伝えるべきことを言葉にできないために痲癩につながる様子があり、発話のきっかけとなるカードの導入を提案、単語のまとまりでの文字理解の方法についてアドバイス。）

3) 備考

- ・対象者2名は継続的な助言指導を行い、他のお子さんにも共通する問題についても助言しました。その他の対象者も前年度以前に連携を行ったお子さんであり、経過についての相談でした。
- ・昨年度までは授業場면을観察しての評価が主でしたが、今年度は個別に対象者を取り出して担任の先生から相談を受け、その場でアドバイスをする形式でした。

4. 石川県立いしかわ特別支援学校

言語聴覚士(フリー) 太田 朗子

1) 日程 (合計2回)

2022年9月22日(木) 12:10~14:10

2023年1月26日(木) 12:10~14:20

2) 対象者

学部	内 容
小学部	摂食機能について相談。咀嚼機能の向上、cup drinkingの習得をアドバイス。 反芻の対処について相談。感覚受容の整理と遊びの拡大、食事介助とコミュニケーションの促進をアドバイス。
中学部	発音不明瞭について相談。構音実態の整理、日常コミュニケーションの整理、音声言語理解および音声言語表出の整理、音韻認識についてアドバイス。

3) 備考

- ・見学と相談を同日に行いました。
- ・見学後の懇談を学校側が録音し担当者がまとめ、メール送信されたものを確認して返答し、それを共通理解としました。
- ・今回の連携について年度末にまとめを提出してもらうこととしました。

5. 石川県立盲学校

金沢こども医療福祉センター 藤田 徹

1) 日程 (合計2回)

2022年6月16日(木) 12:30~14:30

2023年1月18日(水) 12:30~14:30

2) 対象者

学部	内 容
小学部	よだれへの対応や食事について (咀嚼・嚥下や食事時間、姿勢等)
中学部	食事について (固い食物の処理や食具等)

3) 備考

- ・給食場面を見学させていただき、録画した映像をもとに意見交換や助言を行いました。
- ・対象者2名とも継続して2回助言指導を行いました。
- ・各回とも訪問後に報告書を作成し、学校に提出しました。

6. 石川県立ろう学校

金沢医療センター 清水 聡子・宗石 順子

1) 日程 (合計5回) 及び担当者

2022年10月18日(火) 9:00~12:30 (宗石)

11月11日(金) 9:00~12:30 (清水)

12月6日(火) 13:00~16:00 (清水)

2023年1月26日(木) 9:00~12:30 (宗石)

2022年12月6日(火) 16:00~17:00 医療教育連携研修会 (清水)

2) 対象者

学部	相談内容
幼稚部	個別指導についてのアドバイス依頼。構音の評価と指導。コミュニケーション手段(手話・音声)についての確認と言語機能評価を行い、現状でできる構音指導についてアドバイスをを行った。
小学部	授業見学を通して言語機能についての現状把握と、個別指導・課題の内容についてのアドバイスをを行った。
中学部	発話不明瞭について相談。本人と一緒に練習し、未獲得の音について自宅でできる練習・母音での音読など構音動作の指導実施。
高等部	発話不明瞭について 本人への構音評価・指導
	発話不明瞭について 本人への構音評価・指導
高等部 専攻科	発話不明瞭について 本人への構音評価・指導

3) 備考

- ・医療教育連携研修会でろう学校の乳幼児相談教室、幼稚部、小学部に通っている児のうち、当院で聴覚管理・言語指導を行っている児に関して補聴状況、コミュニケーション状況、問題点を話し合い、情報共有を行った。

7. 石川県立明和特別支援学校

言語聴覚士(フリー) 太田 朗子

1) 日程 (合計4回)

2022年7月4日(月) 9:30~12:30
 7月11日(月) 14:00~16:00
 2023年1月18日(水) 9:00~13:00
 2月20日(月) 14:20~16:00

2) 対象者

学部	内 容
小学部	発音の明瞭度について相談。構音の整理、音韻認識の整理、発話スピードについて、粗大運動能力およびスピードコントロールについてアドバイス。
中学部	摂食機能の向上およびコミュニケーションについて相談。粗大運動と摂食姿勢について、摂食機能について、コミュニケーション実態の整理と表出手段についてアドバイス。

3) 備考

- ・見学と相談を別の日に行いました。
- ・4回目が降雪の影響で2月に延期となったため、必要事項および実施事項についてメールでアドバイスし、変更日に内容を確認しました。
- ・今回の連携についてのまとめを年度末に提出してもらうこととしました。

8. 石川県立小松特別支援学校

キッズルームパブリカ 山本 千敦

1) 日程 (合計5回)

2022年6月28日(火) 9:20~14:00
 7月15日(金) 9:20~14:00
 10月6日(木) 9:20~14:00
 11月15日(火) 9:20~14:00
 12月9日(金) 10:20~14:00

2) 対象者

学部	内 容
小学部	発音が不明瞭。本児にとって使いやすい伝達方法や発音をよくなる為にできる「お口の体操」があれば教えてほしい。
	発語できることばを増やしていくには、学校の中でどのような指導をしていけばよいか。
	学校生活で使うことばがほとんどわかっていない。生活の中で使用する語彙(名詞や動詞)の意味を理解できるようになる指導。
	食事時の舌の使い方や咀嚼がより良くなるためにどのような練習、支援、補助具があるか。
	互いに伝わる有効な言語がない状態。教師は本人に寄り添うのみの状況をなんとかしたい。

小学部	本人に合う手順・ルールの示し方や交渉の仕方。
	授業中に前に出てきて授業の妨げになること、友達に手が出ることもある。このような時に気持ちを落ち着かせる手立てについて。
	多くのことばを理解しているが思いを表出する方法が少ない。発語を促しているがなかなかことばが出てこない時が多いため、どのように指導していくのがいいか。
	本人が伝わったと感じた身振りでしか伝えようとしめない。本人の本当の思いがわからない。コミュニケーションの幅を広げるにはどうしたらいいか。
	「さしすせそ」を「しゃししゅしえしよ」と発音する。正しく発音できるようになる課題について。
中学部	食事の場面で一人でできることが増えてほしい。
	発言しようとして言葉につまることがある。
高等部	場面緘黙。本人が自らコミュニケーション手段の選択がもっとできるような支援の仕方について。
	発話不明瞭。発音が難しいと感じ話すことをやめてしまう場面がある。言いたいことをうまく相手に伝えられるようになるために取り組むと良いこと。

3) 備考

- ・小学部のうち3名は、評価・助言を複数回行いました。(一段目に一度目、二段目に二度目の相談内容を記載。)
- ・高等部のうち1名は、昨年度にも評価・助言の機会がありました。

9. 石川県立小松瀬領特別支援学校

キッズルームパブリカ 山本 千敦

1) 日程 (合計3回)

2022年6月27日(月) 10:00~14:00
 10月5日(水) 10:00~15:00
 12月9日(金) 10:00~15:00

2) 対象者

学部	相談内容
小学部	摂食
	摂食
中学部	摂食、コミュニケーション
高等部	コミュニケーション、摂食

*対象児童・生徒さんへの評価・助言は複数回実施しました。

10. 石川県立錦城特別支援学校

芦城クリニック 勝木 準

1) 日程 (合計4回) (地域の小学校の相談対応1回含む)

2022年7月8日(金) 9:30~14:30
 10月5日(水) 9:30~14:30
 10月14日(金) 13:30~16:00 (市内小学校への訪問)
 2023年1月27日(金) 10:30~14:30

2) 対象者 校内 小学部児童2名、高等部生徒5名 校外 小学生2名

学部	相談内容
小学部	ダウン症。知的障害。コミュニケーション（表出）を伸ばすための工夫、自分から食べる量を増やしていく工夫について
	知的障害。嚥下状態の確認
高等部	知的障害。「さ行」の構音について
	脳性麻痺、知的障害。誰にでも伝わりやすいコミュニケーション方法の検討（AAC）について
	知的障害。発話明瞭度とコミュニケーション方法の検討について
	感音性難聴。知的障害。発話明瞭度とコミュニケーション改善について
	知的障害。咀嚼と嚥下状態の確認

小学校 (訪問)	片親が外国人。発音の誤り、読み書き困難。聞こえや言語発達、読み書きの現状把握のための評価、開始予定の通級指導教室への申し送り。
小学校 (相談)	低緊張、言語不明瞭。他にも言葉のはっきりしない児童が複数いるため、学校で取り組める発話明瞭度の改善のための活動についての相談。

3) 備考

- ・事前にいただく連携シートに記載の担任の先生の相談したい内容を念頭に授業や休み時間、給食時間での様子を観察し、対応について担任・コーディネーターと話し合いました。最終回には年度内で見られた変化や今後の課題について確認しました。
- ・市内の小学校への訪問は、本人の通級措置は決定していましたが、開始まで間が開き、担任の強い希望がありました。特別支援学校からの相談担当者と一緒に訪問し、個別評価を実施。結果を担任・校長先生と共有し、通級指導者にも送りました。
- ・2校目の相談は訪問の機会はありませんでしたが、小規模校で教頭先生から本人のみならず他にも言葉の問題がある生徒が複数いて何とかできないものかと相談担当者に依頼があったものです。
- ・特別支援学校のみならず、通常の小学校においても言語聴覚士に対する潜在的なニーズがあることが窺えました。

8. 失語症者向け意思疎通支援者養成講習会報告

「令和4年度石川県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会」は8月7日(日)～11月20日(日)、全9回の日程で開催されました。今年度は過去最高の19名の応募がありましたが、辞退が数名あり、16名での開始となりました。その後もコロナ禍で辞退や必須科目の欠席者が出たことから修了者は9名となりました。

講義では失語症の基礎知識の他に失語症者の生活やニーズ、倫理について学びます。実習ではまずSTが模擬失語症者となり、会話練習を行った後、失語症の方と会話を行います。身体介助についても講義や実習があります。また、外出同行支援実習は昨年度に引き続き能美市防災センターで実施しました。地震・強風・初期消火等の体験や3D映画の視聴の後、当事者講師と受講生が感想を話し合いました。受講者が防災センターの職員の方の説明を当事者へ要点筆記で伝えている姿は実際の支援活動のようでした。

受講生対象のアンケートには「他の受講生が皆さん熱心で、自分もがんばらなければ、と思った。」「軽い気持ちで受講したが、失語症の方とのコミュニケーションの基礎を学び、当事者からの学び、家族に失語症の方がいる方の話など本当に勉強になった。」「テキストだけで無く、当事者と対面できた貴重な内容だった。会って話して理解が深くなったと思う。」など熱い感想が寄せられました。当事者講師の方も「また来年も参加したい」という意見が複数の方から聞かれました。

受講生の皆さんが回を重ねるごとにコミュニケーション技術を使って当事者講師の方との会話が上達していく様子や、当事者講師が会話を楽しみながら担当STが知らないことまで話している様子など、STにとっても日々の臨床や当事者との関わり、周囲への情報提供の大切さ等を振り返る貴重な機会となりました。また、コミュニケーションの持つ力を改めて感じました。

コロナ禍の情勢が続きますが、無事講習会が修了できたのも会員の皆様のご協力のおかげです。今後も石川県失語症友の会や当事者の皆様、県との連携を取り派遣事業開始に向け邁進していきたいと思っております。今後ともより多くの会員のご協力をお願い致します。



■「石川県失語症者向け意思疎通支援者フォローアップ研修会」開催報告

開催日時：2023年2月12日(日) 9:30～11:30

開催方法：Web (Zoom) 開催

「石川県失語症者向け意思疎通支援者フォローアップ研修会」が2月12日(日)に開催されました。失語症者向け意思疎通支援者9名、石川県障害保健福祉課の方1名、言語聴覚士4名の計14名が参加しました。

山本愛佳会員から「失語症と合併しやすい障害について」というタイトルで注意障害や構音障害などについての講義のあと、田畑美香会員より「派遣事業に向けて」と題し、全国の意思疎通支援事業の実施状況、他県の派遣事業の紹介、石川県の当事者アンケートの報告がありました。県職員の方からも県の状況についてお言葉をいただきました。

最後に交流会、報告会を行いました。「講習会を受けて変化があった事」では失語症当事者との会話でなくても、いろいろな方々とのコミュニケーションにおいて、養成講習会で学んだことを活かしているとの意見が聞かれました。また、「派遣事業開始に向けての不安点や希望すること」では受講から日も経っているため、さまざまな当事者の方との経験を積みたい、言語聴覚士同席で失語症サロンのような場所でボランティアや実習を行いたいとの意見がありました。

失語症者向け意思疎通支援者の方々が活動に関する意欲を持っておられることに触れることができ、県との協議をより一層進めていく必要性を感じました。

やわたメディカルセンター 田畑 美香 ニュースレター2023.3

9. 関連団体主催行事などへの参加活動

1) 公益社団法人 石川県脳卒中リハビリテーション協会への講師派遣

	日程	場所	病院	担当
令和4年度 言語リハビリ講習会	10月17日	津幡町①		村上美矢子 会員
	11月14日	津幡町②		村上美矢子 会員
	11月 9日	加賀市	小松市民病院	田嶋宏太郎 会員
	11月16日	内灘町	城北病院	中村 洋子 会員
	11月25日	能美市・小松市	小松市民病院	田嶋宏太郎 会員
	11月28日	金沢市		村上美矢子 会員
	12月 2日	志賀町・七尾市	公立能登総合病院	山本 楓 会員
	12月 5日	珠洲市	中止	
	12月13日	かほく市	中止	

2) 石川県失語症友の会研修会・月例会での協力施設

	金沢本部・西支部	加賀支部	能登支部	珠洲支部
4月	総 会			
5月	開催なし	開催なし	開催なし	開催なし
6月	開催なし	6/18(土) 14:00～16:00 小松サンアビリティーズ 小松市民病院 ST田嶋	6/18(土) 13:30～15:30 フォーラム七尾 恵寿総合病院 ST木村、真田	6/18(土) 13:30～15:00 珠洲市総合病院 珠洲市総合病院 ST矢内、加藤、米田
7月	7/16(土) 14:00～15:30 金沢ものづくり会館 県立中央病院 ST河本、別所	7/23(土) 14:00～16:00 小松サンアビリティーズ 加賀市医療センター ST高嶋	7/16(土) 13:30～15:30 ラピア鹿島 公立羽咋病院 ST松扉	開催なし
8月	夏 休 み			
9月	9/17(土) 14:00～15:30 金沢ものづくり会館 公立つぎ病院 ST上田、岩本	9/17(土) 14:00～15:30 小松サンアビリティーズ 小松市民病院 ST田嶋	9/17(土) 13:30～15:00 フォーラム七尾 公立能登総合病院 ST藪越、山本	開催なし
10月	10/22(土) 14:00～16:00 金沢ものづくり会館 金沢医療センター ST酒野、千羽	10/15(土) 14:00～16:00 小松サンアビリティーズ 公立つぎ病院 ST上田	10/15(土) 13:30～15:00 フォーラム七尾 恵寿総合病院 ST赤倉、真田	開催なし
11月	11/26(土) 14:00～16:00 金沢ものづくり会館 公立つぎ病院 ST上田	11/19(土) 14:00～16:00 小松サンアビリティーズ 小松ソフィア病院 ST朴木	11/19(土) 13:30～15:00 ラピア鹿島 公立羽咋病院 ST荒川	11/19(土) 13:30～15:00 珠洲市総合病院 珠洲市総合病院 ST矢内、加藤、米田
12月	12/17(土) 11:00～14:00 招龍亭 ST参加なし	12/17(土) 11:00～13:00 餃子菜館 勝ちゃん 金沢脳神経外科病院 ST紘田、中島	12/17(土) 12:00～14:00 プロッサム 公立能登総合病院 ST藪越、山本	開催なし
1月	開催なし	1/21(土) 14:00～16:00 小松サンアビリティーズ 公立つぎ病院 ST上田	開催なし	開催なし
2月	2/18(土) 14:00～16:00 金沢ものづくり会館 公立つぎ病院 ST上田	2/18(土) 14:00～16:00 小松サンアビリティーズ 芦城クリニック ST田畑	2/18(土) 13:30～15:00 公立羽咋病院 公立羽咋病院 ST松扉	開催なし
3月	3/18(土) 14:00～16:00 金沢ものづくり会館 浅ノ川総合病院 ST高山、大地	3/18(土) 14:00～16:00 小松サンアビリティーズ 小松市民病院 ST田嶋	3/18(土) 13:30～15:30 フォーラム七尾 恵寿総合病院 ST藪越	3/18(土) 13:30～15:00 珠洲市総合病院 珠洲市総合病院 ST矢内、加藤、米田

3) 金沢市フレイル予防事業

【年間活動報告】

この事業は、金沢市からの委託を受けた金沢・健康を守る市民の会が市民全体で健康長寿のまちづくりを図ることを目的に実施しているものです。昨年、フレイルトレーナー候補生だった私は、今年度にフレイルサポーター養成講座を受講後、自身が講座の講師となって初めてフレイルトレーナーとして活動できることとなりました。言語聴覚士会からは村上会員と上野がフレイルトレーナーとして活動しています。フレイルチェックの実践、フレイル予防講座、フレイルサポーター養成講座、フレイルチェック練習会、フレイルトレーナー連絡会が主な活動です。今年度は感染対策として、フレイルチェックの項目を短縮しての開催でしたが、フレイルチェックの回数や、新サポーターの練習会を重ねる毎に、サポーター自身が講師として活動できるまでになってきております。サポーターの方々は自身が地域で様々な活動に参加していらっしゃるの活発で、積極的です。今後も、サポーターを養成し、活発な地域を目指していくことがこの活動の目的です。私達トレーナーが後押しできるように、今後も活動を続けてまいります。

金沢西病院 上野 真由美 ニュースレター2023.3

4) 医療・介護・栄養のお仕事まるわかり事典2022 進学と体験の1dayフェア

開催日：2022年7月24日(日)

開催場所：金沢駅 もてなしドーム

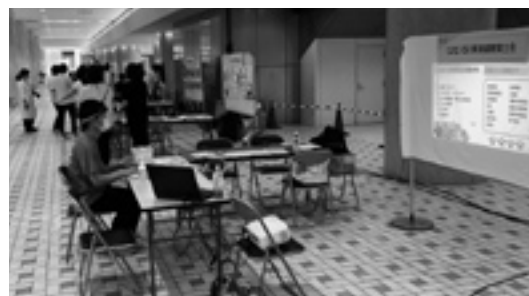
【開催報告】

7月24日に「進学と体験の1dayフェア」が開催されました。今回が初めての出展になります。約30か所のブースがあり、感染対策のためマスクとフェイスシールドを装着、会場は蒸し暑く汗ばみながらの対応となりました。

相談や体験に来られたのは主に中高生で、期待に胸を弾ませた母娘や一人真剣に話を聞く女子高生、戸惑いを隠せない無口なカップルなど計9名でした。ほとんどの方は「言語聴覚士とは」の説明から始まり、体験以外では福井医療大学の先生方と協力しお互いのブースを紹介したり、学校のパンフレットをお渡ししたりしました。

どうしたらSTの魅力を伝えられるかを考えるうちに、学生の頃を思い出し初心に戻った1日でした。

桜ヶ丘病院 堤 絵美 ニュースレター2022.9



5) 金沢市健康づくりフェア

開催日時：2022年9月24日(土) 10:00～15:00

開催場所：金沢健康プラザ大手町東館・西館

【参加報告】

9月24日、第43回健康づくりフェアが「新しい生活様式下でのフレイル予防！」をテーマに開催されました。当士会も参加しましたので以下簡単に報告します。

このフェアは、“自分の健康は自分で守る”という意識の啓発と実践活動を広く金沢市民にひろめるために、金沢・健康を守る市民の会主催で毎年開かれています。

当日は、金沢市医師会・歯科医師会・薬剤師会等による専門家相談や、看護協会・栄養士会等による健康相談、嚥下機能チェック、フレイルチェック体験、物忘れチェック、体力測定、血液・尿検査、内臓脂肪量チェック、骨密度測定、鍼灸マッサージ体験、福祉介護用具展示、AIによる歩行分析など多岐にわたる内容の他、子ども遊びや、クイズラリー、非常食の紹介、金沢城公園ウォーキングなど、24の共催団体がそれぞれ展開して多くの市民が訪れ賑わいました。

当会は、フレイル予防関連コーナーにおいてPT・OTと共にブース出展しました。紹介ビデオを通して言語聴覚士の業務を伝え、また、“お口周りのフレイル予防”ミニレクチャー・滑舌・嚥下の相談や資料の提供などを行いました。オーラルフレイルを知っている参加者もいて、発語がしにくい、聞こえにくい、飲み込みにくいなどの相談を受けました。

様々な関連業種が集まり共に市民の健康に寄与する良い機会だと思いました。

村上 美矢子 ニュースレター2022.12



6) いしかわ介護フェスタ

開催日時：2022年10月8日(土) 10:00～16:00

開催場所：石川県産業展示館3号館



【参加報告】

10月8日に「いしかわ介護フェスタ」に参加させていただきました。介護フェスタは介護に携わる職種や企業の方が各々にブースを設置して行う参加・体験型のイベントです。私たちST県士会のブースではスライド説明とパンフレットの設置、脳トレなどのリハビリ体験コーナー、言葉や食事に関する悩みや進路などの相談を行いました。「はじめて聞いた職業だ」と言ってパンフレットを見てくれる方や「子供がSTを目指している」と相談に来てくれる方、親子でパズルなどの体験をしてくれる方など、様々な方に来ていただきました。相談に来てくれた方の中には介護施設で働く方もおり、話を聞く中で私自身参考になることがありました。またリハビリ体験を楽しそうに取り組む姿も見ることができて、とても充実したイベントでした。今後もこのようなイベントを通して多くの方にSTの職業を知っていただける機会が増えるとうれしいと思います。

JCHO金沢病院附属老人保健施設 橋 瞳 ニュースレター2022.12

公益社団法人 石川県言語聴覚士会 2022年度 年報

2023年6月4日 発行

編集・発行 公益社団法人 石川県言語聴覚士会
〒923-8551 石川県小松市八幡イ12-7
やわたメディカルセンター 言語療法室内

TEL：0761-47-1212(代)

URL：<https://st-ishikawa.com/>

E-Mail：info@st-ishikawa.com

印刷所 マルト株式会社



石川県言語聴覚士会
ホームページ